

苅田町地域公共交通計画 概要版

令和6年3月策定

1. 苅田町地域公共交通計画策定の趣旨(背景・目的)

苅田町には、鉄道(JR日豊本線)、路線バス(西鉄バス北九州、太陽交通)、コミュニティバス(苅田町)等の公共交通が存在しており、町民等の暮らしを支える移動手段となっていますが、今後、人口減少や高齢化などによる交通弱者の増加に対し、買い物や医療機関への通院など、住民生活を維持するための移動需要にどのように対応するかが課題となってきます。

課題解決のためには、今の時代に適した公共交通のあり方を見直し、地域や利用者の実情に応じた交通手段の展開や、鉄道・バス・タクシーなどの交通モード間での連携、新たな技術の活用も含めた様々なサービスの展開を行っていくなど、持続可能な地域公共交通への転換が必要です。

こうした中、「地域公共交通活性化及び再生に関する法律」の改正により地方公共団体に地域公共交通計画の作成が努力義務化されたことなどを受け、今後の地域公共交通のマスタープランとなる「苅田町地域公共交通計画」を策定することとしました。

2. 地域公共交通計画の区域

苅田町全域を対象とします。

3. 計画の期間

令和6年(2024年)4月から令和11年(2029年)3月の5年間とします。

4. 地域公共交通を取り巻く課題

地域概況や地域公共交通の現状、町民の意識と関係事業者・団体の意向、社会潮流を踏まえて、本町における地域公共交通を取り巻く課題を以下に示します。

視点	現状・意向	課題
住民の移動手段	◇ 今後、15～64歳(生産年齢人口)の人口減少が著しくなり、高齢者の割合も増えていくことが予想される。 ◇ 運転免許証の自主返納者数は、直近5年で毎年100人前後となっている。 ◇ コミュニティバスの利用圏域(バス停からの徒歩圏500m)は人口分布を概ねカバーしている。 ◇ 年齢が高くなるにつれ、自動車運転に不安を感じ始めている。 ◇ 今後、公共交通を利用するための条件として、「近所へのバス停設置、バス停までの送迎、フリー乗降制度などが導入され、バス停までの移動が楽になったら」が多くなっている。 ◇ 高齢者や免許返納者が気軽にタクシーを使えるような対策が求められている	課題1 高齢者等の日常生活に必要な移動手段の確保
コミュニティバスの利便性	◇ 人口は、JR日豊本線沿線に集中し、生活利便施設は国道10号及びJR日豊本線沿いに多く立地している。 ◇ 東九州自動車道や国道10号、国道201号バイパスを軸として県道や町道などによる道路網が形成されている。 ◇ コミュニティバスの運行について、「運行本数」「運行時間帯」「運行ルート(行き先等)」への不満が多くなっている。 ◇ コミュニティバスの時間や使い方がわかりづらいことや、わかりやすい運行情報の提供などが求められている。	課題2 わかりやすく利用しやすいコミュニティバス運行サービスの構築
交通ネットワークの連携	◇ 県内市町村との通勤・通学の状況として、流入・流出ともに関係が深い市町村は北九州市、行橋市となっている。 ◇ 本町の公共交通として、鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシーが運行している。 ◇ 通勤・通学の行き先は、「苅田町外」が多く、買い物、通院の行き先の多くは、「苅田町内」となっている。 ◇ JR小波瀬西工大前駅のバリアフリー化や駅周辺整備が求められている。	課題3 公共交通機関の相互連携と交通結節点の機能強化による町内外交通ネットワークの構築
公共交通の維持	◇ 福岡県全体や北九州市と比較すると、自家用車の利用割合や自動車保有割合が高くなっており、乗り合いバスの利用割合が低くなっている。 ◇ 公共交通の利用者は、新型コロナウイルスの影響で減少したものの、徐々に回復傾向にある。 ◇ 本路線バス5路線のうち、2路線で、国・県・沿線自治体より、補助金を受けて運行をしている。 ◇ 通勤・通学、買い物、通院のすべてにおいて、自動車利用が多くなっている。 ◇ JR(鉄道)、路線バス、コミュニティバスの利用頻度が低い。	課題4 地域の暮らしを支える公共交通の維持
他分野との連携	◇ 障がい者や高齢者等の方に向けた外出支援や経費負担の軽減のため、タクシーやコミュニティバス利用に関する助成事業を実施している。 ◇ 乗務員不足が交通事業者共通の問題である。 ◇ イベント時のシャトルバスの運行やバスを使ったキャンペーン・ツアーの実施等の連携策。 ◇ 小波瀬西工大前駅と病院間の定期送迎車両の運行が行われている。	課題5 他のまちづくり分野や多様な主体との連携による移動手段の確保

5. 計画の基本理念・基本方針

[基本理念]

本計画では、第5次苅田町総合計画で示す『「一人ひとり」が輝く「もっと」快適 住みやすいまち 苅田』を実現するための社会基盤の構築に向けて、誰もが使いやすく、持続性の高い公共交通の実現を目指します。また、公共交通の需要を誘発する医療や福祉、商業等との関連を公共交通環境と捉えた上で、地域で守る公共交通を目指します。

この理念を端的に示せば、以下のとおりです。

**“住みやすいまち 苅田”を持続的に支える
公共交通環境の実現**

[基本方針]

設定した基本理念や上位関連計画に基づき、地域公共交通の課題に対応する基本方針を以下のとおり定めます。

- 誰もが安心して利用でき、町民の暮らしを支える公共交通を目指す
- 公共交通の相互連携による一体的なネットワークを目指す
- 持続性の高い公共交通を目指す
- 多様な主体の“共創”により地域で守る公共交通を目指す

6. 計画の目標と評価指標

[計画目標]

4つの基本方針を実現するため、達成すべき計画の目標を以下のとおり設定します。

- 地域内移動の公共交通手段の維持・確保
- 公共交通ネットワークの強化
- 公共交通の利用促進とサービスの適正化
- 新しい技術の導入と地域輸送資源の総動員

[評価指標:成果値(アウトカム指標)]

本計画における全体の成果としての、評価指標と成果値(アウトカム指標)を以下のとおり設定します。

評価内容	評価指標	現況値 令和4年度(2022年度)	目標値 令和10年度(2028年度)
公共交通の利用者数	・鉄道の乗車人数(苅田駅、小波瀬西工大前駅)	3,689人/日	4,238人/日
	・路線バスの利用者数 行事線 白川・谷線 行橋～福岡線 行橋～下曾根線 朽網駅～北九州空港線	1,257人/年 2,687人/年 472人/日 220人/日 236人/日	2,787人/年 4,289人/年 727人/日 295人/日 278人/日
	・コミュニティバスの利用者数(接続線利用者含む)	55,591人/年	78,569人/年
財政負担額	・町民1人あたりの公共交通事業負担額	1,234円/人	現状レベルを維持
公共交通に不満がない町民の割合	・まちづくり町民アンケート(総合計画)	54.6%	67.6%

7. 施策及び実施事業

計画目標を達成するための施策に関連する具体的な実施事業と実施主体、目標値（アウトプット指標）を以下に示します。

計画目標1 地域内移動の公共交通手段の維持・確保

施策1-1	安心して快適な公共交通サービスの確保					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティバスの利用実態や地域の実情、ニーズを考慮し、デマンド交通の導入、グリーンスローモビリティ等新しい移動手段の調査検討を進めます。また、ライドシェア等の新たな国の動きにも着目しながら、その可能性について調査検討を進めます。調査検討にあたっては、既存の路線バス、コミュニティバスとの役割分担に十分配慮し、適正な運賃設定、効率的な運行方式の検討、デジタル技術の活用、導入に際しての財政負担の調整等を行います。 ● 白川地区や小波瀬地区の一部は、現在、コミュニティバスの接続線（白川ルート接続線、二崎接続線、白石・美波台接続線）を運行していますが、バス停が遠い等の理由により、利用者が少ない状況です。しかし、今後は高齢者が増加する中で需要が見込まれ、更に利便性の高いサービスへの改善が必要になっています。また、将来的には、コミュニティバス運行エリアを含め町内全域で同様な事象が予想されサービスの確保が必要となります。一方で、町や交通事業者の運営努力だけでは、サービスの促進が難しく、「地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）」の活用により運行を維持・確保する策を検討します。 ● 高齢者や障がい者など町民の暮らしを支える公共交通を目指すため、外出支援サービスや福祉タクシー料金助成を引き続き実施していきます。 					
	実施事業					
	[実施中の事業] ◇ 外出支援サービス事業 ◇ 福祉タクシー料金助成事業	[今後実施・検討する事業] ◇ デマンド交通の導入 ◇ 新しい移動手段の導入検討				
	<p>【事例】香川県まんのう町：デマンド乗合タクシー「あいあいタクシー」</p> <p>・地元タクシー会社3社が連携して、住民を自宅から町内の病院・公共施設等の目的地まで運ぶデマンド乗合タクシー「あいあいタクシー」の運行をしている。なお、地元商工会が地域貢献事業の一環として、「あいあいタクシー」のオペレーター業務を担っている。</p>  <p style="text-align: right;">出典：全国ハイヤー・タクシー連合会 乗合タクシー事例集、まんのう町商工会 HP</p>					
実施主体	苅田町、交通事業者、福祉等の関連事業者・団体					
実施工程（予定）	項目	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
	外出支援サービス事業	継続実施				
	福祉タクシー料金助成事業	継続実施				
	デマンド交通の導入	検討・導入				
	新しい移動手段の導入検討	調査・検討				

施策1-2	コミュニティバスの見直し					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティバスの利用実態やニーズを考慮し、重複路線の解消やルート、本数、ダイヤ等について、コミュニティバスの見直しを行います。 ● 町内で進んでいる道路整備や検討されている公共施設整備も考慮し、ルートの見直しを行っていきます。 ● コミュニティバス（中央ルート、白川ルート、北部ルート、与原・小波瀬ルート）は、町民の地域内の移動手段を担っていますが、運行の本数、時間、ルートの不満や運行情報が分かりにくいといった意見もあがっており、利便性が低い状況です。今後は、利用者を増やし、コミュニティバスを持続的にするためにも、わかりやすいコミュニティバスや利便性の高いコミュニティバスへの転換が必要になっています。一方で、町や交通事業者の運営努力だけでは、コミュニティバス維持が難しく、「地域公共交通確保維持事業（フィーダー補助）」の活用により運行を確保・維持する必要があります。 ● リアルタイムでのバスの運行状況が確認できるバスロケーションシステムの導入を検討します。 					
	実施事業					
	[実施中の事業] ◇ コミュニティバス運行事業	[今後実施・検討する事業] ◇ コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し ◇ バスロケーションシステムの導入				
	<p>【事例】千葉県多古町：バスロケーションシステム「BusGo!」</p> <p>・空港シャトルバスや町内循環バスについて、スマートフォン等からアクセスしバスの現在位置、渋滞や悪天候で遅れるなどの運行状況を簡単に調べることができる。</p>  <p style="text-align: right;">出典：千葉県多古町 HP</p>					
実施主体	苅田町、交通事業者、生活施設等の関連事業者					
実施工程（予定）	項目	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
	コミュニティバス運行事業	継続実施				
	コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し	検討・見直し				
	バスロケーションシステムの導入	検討・導入				

[基本目標1 目標値（アウトプット指標）]

計画目標	評価内容	評価指標	現況 令和4年度 (2022年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
地域内移動の公共交通手段の維持・確保	新たな交通システムの導入検討	新たな交通システムの導入検討の実施状況	—	1回/年
	コミュニティバスの見直し	コミュニティバスの見直し回数	—	令和10年度(2028年度)までに3回程度

計画目標2 公共交通ネットワークの強化

施策2-1	交通事業者間の連携強化												
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域内や町内・町外における移動がスムーズにできるように、交通事業者の連携を促進し、乗り継ぎしやすいダイヤの調整を進めます。 ● 交通事業者間の連携を図るため、必要に応じて協議を実施します。 												
	実施事業												
	[今後実施・検討する事業] ◇ 乗り継ぎしやすいダイヤの設定 ◇ 交通事業者間の連携に向けた協議												
	<p>【事例】北海道：交通政策ミーティング</p> <p>・鉄道・バス・タクシー関係者、航空関係者、物流関係者、経済関連団体が参加メンバーとなり、各回、検討テーマを設定し、「人員不足・確保」、「事業者間で連携した取組」、「次世代交通システム等の導入」の3つの視点から、各交通事業者や関係者と連携した取組、方向性等について事例等を参考に検討・協議を進めている。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center; background-color: #e0f2f1;">検討内容</p> <p>検討テーマを設定し、「人員不足・確保」、「事業者間で連携した取組」、「次世代交通システム等の導入」の3つの視点から、各交通事業者や関係者と連携した取組、方向性等について事例等を参考に検討・協議を進める。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">検討テーマ</th> <th style="width: 80%;">課題等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人員不足・確保</td> <td>人口減少・高齢化が進む中、交通事業に従事する人員不足への対応が喫緊の課題。今後、交通業界で働き手等の働きかけやDXの活用による業務効率化に向けた取組が必要。</td> </tr> <tr> <td>事業者間連携などの取組</td> <td>労働力不足が進む中、交通事業者間、輸送モードなど様々な領域で連携を強化し、利用者にとっての利便性向上や運輸事業者の業務の効率化に向けた取組が必要。</td> </tr> <tr> <td>次世代交通システム導入への取組</td> <td>ゼロカーボン北海道の実現に向けて、広域分散型の本道にとっては、積雪寒冷地等の地理的条件などもあり、環境配慮型バスの導入が進んでいない状況。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：北海道庁HP北海道交通・物流連携会議</p> </div>						検討テーマ	課題等	人員不足・確保	人口減少・高齢化が進む中、交通事業に従事する人員不足への対応が喫緊の課題。今後、交通業界で働き手等の働きかけやDXの活用による業務効率化に向けた取組が必要。	事業者間連携などの取組	労働力不足が進む中、交通事業者間、輸送モードなど様々な領域で連携を強化し、利用者にとっての利便性向上や運輸事業者の業務の効率化に向けた取組が必要。	次世代交通システム導入への取組
検討テーマ	課題等												
人員不足・確保	人口減少・高齢化が進む中、交通事業に従事する人員不足への対応が喫緊の課題。今後、交通業界で働き手等の働きかけやDXの活用による業務効率化に向けた取組が必要。												
事業者間連携などの取組	労働力不足が進む中、交通事業者間、輸送モードなど様々な領域で連携を強化し、利用者にとっての利便性向上や運輸事業者の業務の効率化に向けた取組が必要。												
次世代交通システム導入への取組	ゼロカーボン北海道の実現に向けて、広域分散型の本道にとっては、積雪寒冷地等の地理的条件などもあり、環境配慮型バスの導入が進んでいない状況。												
実施主体	苅田町、交通事業者												
実施工程（予定）	項目	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)							
	乗り継ぎしやすいダイヤの設定	適宜検討・実施											
	交通事業者との協議実施	適宜実施											

施策2-2	交通結節点機能の強化					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 町内を運行している各交通手段の結節点として鉄道駅や主要な公共施設・生活施設を位置づけ、快適にスムーズな移動が行えるような交通結節点の整備・強化を行います。 ● 小波瀬西工大前駅の整備、小波瀬西工大前駅周辺の整備、バス停における待合空間の充実を図ります。 ● 関連施設へのユニバーサルデザインの導入の検討を行います。 ● まちづくりの拠点施設の整備を行い、交通ネットワーク強化を図ります。 ● 令和5年度（2023年度）に苅田駅周辺に駐輪場の整備が完了したため、令和6年度（2024年度）から供用を開始します。また、パークアンドライド環境の充実を図るため、苅田駅周辺の駐車場整備について検討を進めます。 					
	実施事業					
	[実施中の事業] ◇ 苅田駅駐輪場設置工事			[今後実施・検討する事業] ◇ 小波瀬西工大前駅周辺の整備 ◇ まちづくりの拠点施設の整備 ◇ 待合空間の整備 ◇ 苅田駅駐車場整備検討		
	<p>【事例】広島県廿日市市：バリアフリーを考慮した交通結節点整備</p> <p>・交通結節点機能強化のため、駅前広場の整備と合わせて、駅周辺の施設整備、乗継円滑化を図り、駅周辺のバリアフリー化やシームレスな乗換による快適性・利便性が向上した。</p>  <p style="text-align: right; font-size: small;">出典：国土交通省 駅まち再構築事例集</p>					
実施主体	苅田町、交通事業者					
実施工程（予定）	項目	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
	小波瀬西工大前駅周辺の整備	調査・設計				
	まちづくりの拠点施設の整備	調査・設計・工事				
	待合空間の整備	適宜実施				
	苅田駅駐車場整備検討	調査・検討				
	苅田駅駐輪場整備（供用開始）	令和6年度(2024年度)から供用開始				

[基本目標2 目標値（アウトプット指標）]

計画目標	評価内容	評価指標	現況 令和4年度 (2022年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
公共交通ネットワークの強化	交通事業者の連携のための会議数	ネットワーク向上等、交通事業者同士が連携した会議の実施数	—	1回/年
	交通結節点の整備	交通結節点や待合空間の整備数	—	令和10年度(2028年度)までに2地点以上

計画目標3 公共交通の利用促進とサービスの適正化

施策3-1	公共交通利用環境の向上や利用促進																														
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通結節点やその周辺でのイベント、公共交通を活用した取り組み等を行い、公共交通の利用促進を図ります。 ● 鉄道駅周辺での駐輪場・駐車場整備を行い、パークアンドライド環境の充実を図ります。 ● 町内の公共交通の情報が網羅的に確認できるように公共交通のわかりやすい情報提供を行います。 ● 公共交通の利用が促進されるよう利用環境の整備を進めます。 																														
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr><th colspan="2">実施事業</th></tr> <tr> <td style="width:50%;">[実施中の事業] ◇ 駅前イベントの実施 ◇ 高齢者運転免許自主返納支援事業 ◇ 苅田駅駐輪場設置工事 ◇ 都市計画道路南原殿川線道路改築工事</td> <td style="width:50%;">[今後実施・検討する事業] ◇ 公共交通を活用したイベントの実施 ◇ 公共交通の情報発信強化(SNS・HP) ◇ 小波瀬西工大前駅周辺の整備 ◇ 苅田駅の駐車場整備検討</td> </tr> </table>	実施事業		[実施中の事業] ◇ 駅前イベントの実施 ◇ 高齢者運転免許自主返納支援事業 ◇ 苅田駅駐輪場設置工事 ◇ 都市計画道路南原殿川線道路改築工事	[今後実施・検討する事業] ◇ 公共交通を活用したイベントの実施 ◇ 公共交通の情報発信強化(SNS・HP) ◇ 小波瀬西工大前駅周辺の整備 ◇ 苅田駅の駐車場整備検討																										
実施事業																															
[実施中の事業] ◇ 駅前イベントの実施 ◇ 高齢者運転免許自主返納支援事業 ◇ 苅田駅駐輪場設置工事 ◇ 都市計画道路南原殿川線道路改築工事	[今後実施・検討する事業] ◇ 公共交通を活用したイベントの実施 ◇ 公共交通の情報発信強化(SNS・HP) ◇ 小波瀬西工大前駅周辺の整備 ◇ 苅田駅の駐車場整備検討																														
実施主体	苅田町、交通事業者																														
実施工程 (予定)	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th>項目</th> <th>令和6年度 (2024年度)</th> <th>令和7年度 (2025年度)</th> <th>令和8年度 (2026年度)</th> <th>令和9年度 (2027年度)</th> <th>令和10年度 (2028年度)</th> </tr> <tr> <td>公共交通を活用したイベントの実施</td> <td colspan="5">適宜実施</td> </tr> <tr> <td>高齢者運転免許自主返納支援事業</td> <td colspan="5">継続実施</td> </tr> <tr> <td>都市計画道路南原殿川線道路改築工事</td> <td colspan="5">継続実施</td> </tr> <tr> <td>公共交通の情報発信強化</td> <td colspan="5">適宜実施</td> </tr> </table>	項目	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)	公共交通を活用したイベントの実施	適宜実施					高齢者運転免許自主返納支援事業	継続実施					都市計画道路南原殿川線道路改築工事	継続実施					公共交通の情報発信強化	適宜実施				
	項目	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)																									
	公共交通を活用したイベントの実施	適宜実施																													
	高齢者運転免許自主返納支援事業	継続実施																													
都市計画道路南原殿川線道路改築工事	継続実施																														
公共交通の情報発信強化	適宜実施																														

【事例】福岡県春日市:LINEを活用した情報発信

・市民一人一人が、ほしい情報(防災情報、道路・交通情報、イベント・施設情報、ごみ収集日等13項目)を春日市LINE公式アカウントに登録することで、選択して受け取ることができる。

・コミュニティバスについては、路線ごとの時刻表のリンクが表示される。



出典:春日市公式LINEを加工

施策3-2	持続性の高い公共交通への再構築							
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● コミュニティバスの利用実態や財政負担、ニーズ等を勘案し、サービスの適正化が図られたコミュニティバスの見直しを行います。(施策1-2と関連) ● 地域間交通を担う路線バスの維持に向けた取り組みを交通事業者や周辺自治体と連携して行います。 ● 行橋～下曾根線は、周辺市と本町を結んでおり、当該路線は、町民の通勤・通学等の移動において、町内外をつなぐ重要なネットワークとなっているため、路線バスの維持が必要になっています。一方で、町や交通事業者の運営努力だけでは、路線バスの維持が難しく、「地域公共交通確保維持事業(幹線補助)」の活用により運行を確保・維持する必要があります。 ● その他公共交通を維持・確保していくために、地域公共交通確保維持事業等をはじめとする、国や県の補助金等の活用を検討していきます。 							
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr><th colspan="2">実施事業</th></tr> <tr> <td style="width:50%;">[実施中の事業] ◇ コミュニティバス運行事業 ◇ バス運行補助事業</td> <td style="width:50%;">[今後実施・検討する事業] ◇ コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し</td> </tr> </table>					実施事業		[実施中の事業] ◇ コミュニティバス運行事業 ◇ バス運行補助事業
実施事業								
[実施中の事業] ◇ コミュニティバス運行事業 ◇ バス運行補助事業	[今後実施・検討する事業] ◇ コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し							
実施主体	苅田町、周辺市町村、交通事業者							
実施工程 (予定)	項目	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)		
	路線バス維持・確保に向けた周辺市町村との協議実施	適宜実施						
コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し	適宜実施							

[基本目標3 目標値(アウトプット指標)]

計画目標	評価内容	評価指標	現況 令和4年度 (2022年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
公共交通の利用促進とサービスの適正化	公共交通に関連したイベントの実施	公共交通に関連したイベントの実施数	6回/年	8回/年
	パークアンドライドの促進	鉄道駅周辺の駐輪場・駐車場の整備数	—	令和10年度(2028年度)までに1回以上
	情報発信ツールの作成・更新回数	SNSやHP等を用いた情報ツールの導入及び情報発信の更新回数	—	1回/年
	コミュニティバスの収支率	コミュニティバスの収支率	17.3%	25%

計画目標4 新しい技術の導入と地域輸送資源の総動員

施策4-1	デジタル技術の活用及び環境低負荷な交通の検討					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境低負荷な交通システムの実現に向け、コミュニティバスやタクシーにおける環境にやさしい車両の導入に向けた補助等を行います。 ● コミュニティバスの利便性向上に向け、低コストで導入しやすいキャッシュレス決済システムやオンライン決済の導入を検討します。 					
	実施事業					
	[実施中の事業] ◇ コミュニティバス運行事業 ◇ 次世代自動車購入費補助金交付事業（現行の補助制度は令和6年度（2024年度）で終了）			[今後実施・検討する事業] ◇ 環境低負荷なコミュニティバス車両の導入 ◇ キャッシュレス決済やオンライン決済の導入検討 ◇ バスロケーションシステムの導入		
	<p>【事例】兵庫県神戸市：ハイブリッドノンステップバス</p> <p>・神戸市交通局では、大気環境の改善・地球温暖化防止に配慮した「環境にやさしいバス事業」を推進している。近年では、排出ガスが少ないクリーンなエンジンを搭載した車両（最新排出ガス規制適合車）に順次更新し、既に導入済みのハイブリッドバスについても活用している。</p>  <p style="text-align: right;">出典：神戸市交通局 HP</p>					
実施主体	苅田町、交通事業者					
実施工程（予定）	項目	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）	令和9年度（2027年度）	令和10年度（2028年度）
	次世代自動車購入費補助金交付事業	継続実施				
	環境低負荷なコミュニティバス車両の導入		検討			導入
	キャッシュレス決済やオンライン決済の導入検討			調査・検討		

施策4-2	多様な主体との連携による移動サービスの検討					
内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 町民の利用ニーズに合わせた公共交通の運用において、公共交通サービスのみで対応しきれない際に、企業や福祉分野などの送迎バスなど既存の輸送資源の有効活用を多様な主体と協議しながら検討を進めます。 ● 福祉分野や観光分野等のその他の分野と連携しながら、公共交通の利用促進に向けたイベントの実施や移動サービスや生活サービスの充実を図ります。 ● 周辺市町村と広域ネットワーク構築のため連携を図ります。 					
	実施事業					
	[実施中の事業] ◇ 路線バス運行補助事業 ◇ 福祉タクシー料金助成事業 ◇ 他分野と連携したイベントの実施			[今後実施・検討する事業] ◇ 企業送迎バスや既存輸送資源の活用検討		
	<p>【事例】静岡県湖西市：企業シャトルバス BaaS（パース）</p> <p>・市内を走行する企業シャトルバスを地域移動資源として活用し、市民が車に頼らなくても豊かな生活を送ることができるように、市内企業の協力のもと市内企業が運行するシャトルバスに、市民が乗る新たな移動手段の仕組みを検討し、社会実装に向けた実証実験を実施している。</p>  <p style="text-align: right;">出典：静岡県湖西市 HP</p>					
実施主体	苅田町、周辺市町村、交通事業者、町内企業、関連事業者・団体					
実施工程（予定）	項目	令和6年度（2024年度）	令和7年度（2025年度）	令和8年度（2026年度）	令和9年度（2027年度）	令和10年度（2028年度）
	企業送迎バスや既存輸送資源の活用の導入検討			調査・検討		
	他分野と連携したイベントの実施				適宜実施	

[基本目標4 目標値（アウトプット指標）]

計画目標	評価内容	評価指標	現況 令和4年度 (2022年度)	目標値 令和10年度 (2028年度)
新しい技術の導入と地域輸送資源の総動員	デジタル技術の導入	キャッシュレス決済やオンライン決済、バスロケーションシステム等の検討、導入状況	—	令和10年度（2028年度）までに1回以上
	他分野との連携回数	企業・福祉事業等の他分野との連携回数	1回/年	3回/年

8. 実施事業の一覧

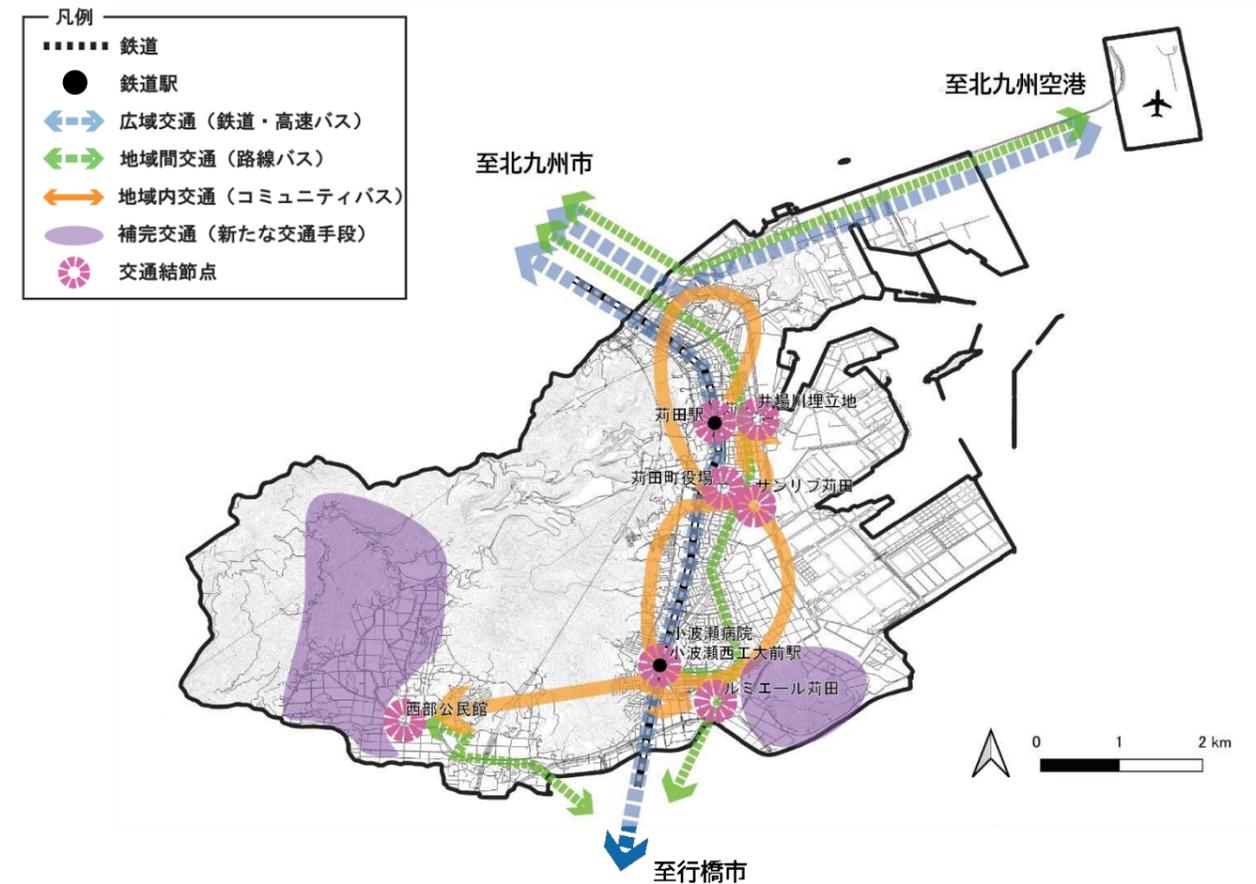
実施事業の一覧を以下に示します。

実施事業	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
計画目標 1 地域内移動の公共交通手段の維持・確保					
施策 1-1 安心して快適な公共交通サービスの確保					
外出支援サービス事業			継続実施		
福祉タクシー料金助成事業			継続実施		
デマンド交通の導入			検討・導入		
新しい移動手段の導入検討			調査・検討		
施策 1-2 コミュニティバスの見直し					
コミュニティバス運行事業			継続実施		
コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し			検討・見直し		
バスロケーションシステムの導入			検討・導入		
計画目標 2 公共交通ネットワークの強化					
施策 2-1 交通事業者間の連携強化					
乗り継ぎしやすいダイヤの設定			適宜検討・実施		
交通事業者との協議実施			適宜実施		
施策 2-2 交通結节点機能の強化					
小波瀬西工大前駅周辺の整備			調査・設計		
まちづくりの拠点施設の整備		調査・設計・工事			
待合空間の整備			適宜実施		
苅田駅駐車場整備検討			調査・検討		
苅田駅駐輪場整備(供用開始)			令和6年度(2024年度)から供用開始		
計画目標 3 公共交通の利用促進とサービスの適正化					
施策 3-1 公共交通利用環境の向上や利用促進					
公共交通を活用したイベントの実施			適宜実施		
高齢者運転免許自主返納支援事業			継続実施		
都市計画道路南原殿川線道路改築工事		継続実施			
公共交通の情報発信強化			適宜実施		
施策 3-2 持続性の高い公共交通への再構築					
路線バス維持・確保に向けた周辺市町村との協議実施			適宜実施		
コミュニティバスのルート・ダイヤの見直し			適宜実施		
計画目標 4 新しい技術の導入と地域輸送資源の総動員					
施策 4-1 デジタル技術の活用及び環境低負荷な交通の検討					
次世代自動車購入費補助金交付事業	継続実施				
環境低負荷なコミュニティバス車両の導入		検討		導入	
キャッシュレス決済やオンライン決済の導入検討			調査・検討		
施策 4-2 多様な主体との連携による移動サービスの検討					
企業送迎バスや既存輸送資源の活用の導入検討			調査・検討		
他分野と連携したイベントの実施			適宜実施		

9. 将来の公共交通ネットワークイメージ

将来の公共交通ネットワークイメージと各交通手段の位置づけ・役割を以下に示します。

[将来の公共交通のネットワークイメージ図]



[位置づけ・役割等の整理]

区分	交通手段	役割	確保・維持策
広域交通 (広域幹線)	鉄道 高速バス	北九州市方面や福岡市方面、県外へ連絡する広域の骨格形成軸となる交通	交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保する。
地域間交通 (幹線)	路線バス	隣接市への連絡及び広域交通を補完する交通	地域公共交通確保維持事業(幹線補助)や県市町村補助等を活用し持続可能な運行を目指す。
地域内交通 (支線)	コミュニティバス タクシー	広域交通に接続、地域間交通を補完する交通	地域公共交通確保維持事業(フィーダー補助)等を活用し持続可能な運行を目指す。
補完交通	新たな交通の検討	上記を補完し、高齢者等の少量個別輸送を担う移動手段	地域住民、交通事業者と協議の上、利用ニーズに応じた運行水準を確保する。
交通結节点	鉄道駅・主要集客施設	上記交通機関の乗り継ぎ拠点	鉄道駅や主な集客施設等における良好な乗り継ぎ環境を確保する。